



一学期をふり返って

校長 戸部 秀之

昨年度の猛暑とはうって変わり、今年はひんやりした空気を感じることもさえる7月になりました。梅雨の間の晴れ間も少なく、子どもたちにとっては少し物足りない夏の始まりになったかもしれません。それでも、毎朝の子どもたちの声には力があふれ、躍動感を感じます。保護者の皆さまには、いつもご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

一学期を振り返ってみましょう。

可愛らしくエネルギッシュな小学部の子どもたち。制服が似合うようになり、一つお兄さんお姉さんになった中学部の生徒たち。「社会で働く自分の姿」を思い描いて自覚が高まった高等部の生徒たち。学校全体で新たな仲間を迎え、共に学ぶ新しい社会を作り上げてきました。新しい仲間、新しい先生、新しい教室、新しいカリキュラム……。私は毎年、新しい仲間と新たな関係を築いていく子どもたちの姿に、本当に魅せられています。新しい関係を喜び、大切に育てることができるのは「生きる力」の土台だと思います。今年度も同様に、子どもたちのすばらしい力を見ることができた一学期でした。

運動会や林間学校、修学旅行など大きな学校行事がありました。5月の運動会では、保護者の皆さまには、校内整備や警備など、ご協力ありがとうございました。30℃をこえる暑さの中、熱中症予防に気を配りながらの実施となりました。10連休という大型連休もあって集中的な練習期間となったため、子どもたちの負担にも気を配る必要もありました。それでも子どもたちは一生懸命に練習した成果を発揮し、いきいきした演技と力強い競技を見せてくれました。保護者の皆さまや地域の皆さまが見守ってくださることが、これほどまでに子どもたちの心の支えになるのだと、あらためて実感させられた運動会でした。

中学部・高等部の林間学校、高等部3年生の北海道への修学旅行も無事終了しました。私は高3の修学旅行の引率をしました。牧場での体験活動、釧路湿原でのカヌー体験、アイヌ文化の学習など、埼玉とは大きく異なる自然、食、文化、伝統に触れ、たくさんのお話を学んでくれたと思います。その中で私が感心したのは、高3の8人のチームワークです。お互いによく声をかけ合い、サポートし合い、お互いのいいところを引き出しあいながら、素晴らしい修学旅行を作り上げていきました。日々の一步一步の学びが結実した姿だったと感じました。

いよいよ一学期が終わり、子どもたちの待ちに待った夏休みが始まります。夏休みは、子どもたち自身がいろいろと計画して実行できる貴重な時間です。自分の意思で実行し、またやりたくなる。そのサイクルが自信と意欲を高めていきます。保護者の皆さまには、誘ったり、待ったりと柔軟に働きかけていただきながら、お子さまたちが「自らの意思で実行した」と感じられるように、ご支援をお願いしたいと思います。

二学期には、お子さまたちの溢れんばかりの思い出話を聞けることを楽しみにしています。



教職員の動向

- * 7月12日に高等部 石松紫織教諭に第2子が誕生しました。
- * 7月16日に中学部 今井あゆり教諭に第1子が誕生しました。